

「加工食品輸出クラスター組成のための意見交換会（岩手県）」議事概要

日 時：令和5年10月31日（火）13:30～16:30

場 所：盛岡地域交流センター（マリオス）18階 180・181 会議室

出席者：

【加工食品製造事業者】

岩手缶詰（株）、（株）エーデルワイン、（株）川秀、佐々長醸造（株）、
（有）多田自然農場、（株）戸田久、（株）南部美人

【流通事業者】

岩手県産（株）

【支援機関等】

（独）日本貿易振興機構（JETRO）、（独）中小企業基盤整備機構、
（株）日本政策金融公庫、（株）岩手銀行、（株）東北銀行、（株）北日本銀行、
アクセンチュア（株）

【行政】

岩手県、岩手県県南広域振興局、遠野市、農林水産省、東北農政局、
東北農政局岩手県拠点

【加工食品輸出クラスター組成に係る主な意見】

- ・ 単独で輸出に取り組むよりも複数の事業者が集まって、弱い部分をお互いにカバーしながら取り組んでいくことがよいのではないかな。
- ・ 複数の事業者が組むことで競争を生む可能性もあるが、動かしながら解決すればよく、まずは始めてみるのが大事なのではないかな。
- ・ 単独では難しい輸出の取組も、複数の事業者が集まることで出来るようになることが増えるのではないかな。
- ・ 1社ではなかなか出展できない規模の大きな展示会へも、団体で出展することで商談の機会や成約のチャンスが増えるのではないかな。
- ・ 情報交換を行う場が重要になるのではないかな。
- ・ 地域の良い商品を揃えて輸出することで相乗効果を狙うとともに、地域のブランディングを高めていくことは大切な取組ではないかな。